学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文ＢⅠ	単位数	２単位	年次	３・４年次
使用教科書	新編現代文Ｂ　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・『新編現代文Ｂ』のⅠ部に収められた作品を読んでいきます。
・随筆、小説、評論の各分野を一通り学びます。
・授業では、本文中の漢字や語句の意味といった基礎の部分を押さえつつ、国語総合よりも少し高度な読解にも挑戦します。
・授業の初めには漢字プリントを行い、テストにも出題します。
・持ち物は、教科書と冊子、そして筆記用具です。毎回、持ち物の点検を行います。
・テスト前は、本文を何度も読み返し、内容を覚えるようにしましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期テストは計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・語句の意味や指示語などをおさえ、文章の内容や構成、登場人物の心情を的確に理解することができる。
・様々な作品に触れることでものの見方や感じ方、考え方を深め、それらを適切に表現することができる。
・自分以外のものの見方や考え方に関心を持ち、自己を豊かにしていこうとする態度を育んでいる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観点の趣旨	・様々な文章を読むことで、ものの感じ方や考え方を広め、読書に関心を持ち、国語の向上を図ろうとしている。	・受講生の発表や意見を取り入れたり、話し合うなどして、自分の考えを深めている。	・作品を読み、登場人物の心情や表現の特色、書き手の考えなどについて根拠に基づいて自分の意見を書こうとしている。	・文章を読み、書き手の意図や心情描写を的確に読み取るとともに、文体や修辞などの表現上の特色を味わう姿勢を持っている。	・語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにしようとしている。 ・表現の特色や文章の構成を知り、自分の表現や推敲に生かそうとしている。
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・取り組み方 ・提出物	・行動の観察	・行動の観察 ・ワークシート ・定期考査	・発言内容 ・ワークシート ・定期考査	・定期考査 ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期		随想（いのちと自然）	教材：俵万智「さくらさくらさくら」	○			◎	○	ａ：人物、情景、心情などを、どのように書き手が表現しているのかを捉え、言葉の美しさや深さ、表現上の工夫に気づこうとしている。 ｄ：①語句の意味や指示語、前後関係などをおさえ、書き手の主張を的確に読み取っている。 ｄ：②人物、情景、心情などを、どのように書き手が表現しているのかを捉え、言葉の美しさや深さ、表現上の工夫に気づいている。 ｅ：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	ａ、ｅ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認及び定期考査
		小説（つながる心）	教材:井上ひさし「ナイン」	○		○	◎	○	ａ：人物、情景、心情などを、書き手がなぜこのように描いているのかを捉え、比喩の効果や風景描写の役割に気づこうとしている。 ｃ：登場人物の心情を教科書本文に基づいて捉えることができる。 ｄ：人物、情景、心情などを、書き手がなぜこのように描いているのかを捉え、比喩の効果や風景描写の役割に気づいている。 ｅ：登場人物の心情を的確に理解するための着目点について理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｃ、ｄ、ｅ：記述の確認及び定期考査
		評論（考える手がかり）	教材：「科学的であるために」	○			◎	○	ａ：文章の構成や指示語、具体例、接続語などに注目し、作者の主張を理解しようとしている。 ｄ：文章の構成や指示語、具体例、接続語などに注目し、作者の主張を理解している。 ｅ：作者の主張する「科学的」な考え方について理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ、ｅ：記述の確認及び定期考査

後期		小説 （物語の中へ）	教材：井伏鱒二 「山椒魚」	○			◎	○	ａ：山椒魚の心情や置かれた状況などを捉え、比喩の意味するところに気づこうとしている。 ｄ：山椒魚の心情や置かれた状況などを捉え、比喩の意味するところに気づいている。 ｅ：比喩の種類と、古めかしい語句の意味について理解している。	ａ:行動の観察及び記述の確認 ｄ、ｅ：記述の確認及び定期考査
		短歌・俳句	教材：自作教材	○	○	○	◎	○	ａ：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づこうとしている。 ｂ：作品を通して感じたことを他者に伝え、また他者の意見を聞くことで自身の考えを深めることができる。 ｃ：気に入った作品を一つ選び、作品のすぐれた表現などについて鑑賞文を書くことができる。 ｄ：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づいている。 ｅ：短歌や俳句の基本的なきまりや、表現上の特色について理解している。	ａ、ｂ、ｄ：行動の観察及び記述の確認 ｃ：記述の確認、定期考査 ｅ：定期考査
		評論（考える手がかり）	教材：「「ふしぎ」ということ」	○			◎	○	ａ：指示語、具体例、接続語、段落と段落との関係などに注目し、作者の主張を理解しようとしている。 ｄ：指示語、具体例、接続語、段落と段落との関係などに注目し、作者の主張を理解している。 ｅ：作者の主張について理解している。	ａ:行動の観察及び記述の確認 ｄ、ｅ：定期考査

※　表中の観点について　a.関心・意欲・態度　b.話す・聞く能力　c.書く能力
d.読む能力　e.知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。